



西新潟中央病院

NST NEWS 第51号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2018年6月5日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線1304

NSTミニレクチャー第30回 ～食欲と漢方薬～

月に1度の栄養の勉強、NSTミニレクチャーのコーナーです。
今回は食欲増進に効果のある漢方薬を御紹介したいと思います。



東洋医学の考え方に「**気・血・水**」というものがあります。気は生命エネルギー、血は血液、水は血液以外の水分をさしており、これらのバランスが乱れることで身体が不調をきたすとされています。気血水のバランスが崩れ、**気虚**(気が不足している状態)となることで食欲不振が現れることがあり、この場合は**補気剤**(気を補う漢方薬)を使用することで食欲が回復します。今回は補気剤の一部を御紹介します。

・六君子湯(りっくんしとう)

六君子湯はグレリンというホルモンと深い関わりがあります。グレリンは胃から分泌されるホルモンの一つで摂食中枢のある視床下部に働き食欲を増進させる効果がありますが、六君子湯はこのグレリンの分泌を促進することが近年の研究でわかってきました。食欲不振が高頻度で現れる抗がん剤の治療中でも食欲改善がみられる例もあります。



・補中益気湯(ほちゅうえっきとう)

補中益気湯は虚弱体質や病後、手術後などで体力が低下し、消化機能が衰え食欲不振、全身倦怠感などの症状が強いときに適しています。病気がきっかけで食欲がなくなった場合などに効果的と思われます。免疫力を高める効果もあるため手術後の感染症予防も期待できます。



・十全大補湯(じゅうぜんたいほとう)

気だけでなく血も補うことができる漢方薬です。**血虚**(血が不足している状態)では貧血や皮膚、口腔内の乾燥などの症状が現れます。食欲不振に加え、血虚の症状がある場合は十全大補湯を使用するのがいいでしょう。



食欲不振の原因は病後や薬の副作用など多岐にわたりますが食欲を回復させる方法の一つとして漢方薬が効果的な場合もあります。日ごろ食欲がなくて食事が進まない場合は、医師に相談し漢方薬を使用してみるものよいかもしれません。



(文責：薬剤部 小金澤 佑太)

編集後記

栄養の雑誌でも「NSTに活かす漢方薬の基礎知識」について特集されており、漢方薬の効果が注目されています！他にもさまざまな漢方薬があるので第二報もお願いしたいです！

《栄養管理室 曾我》